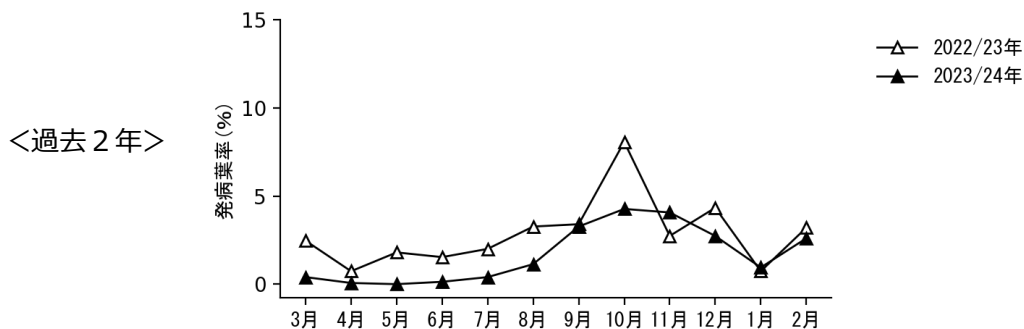
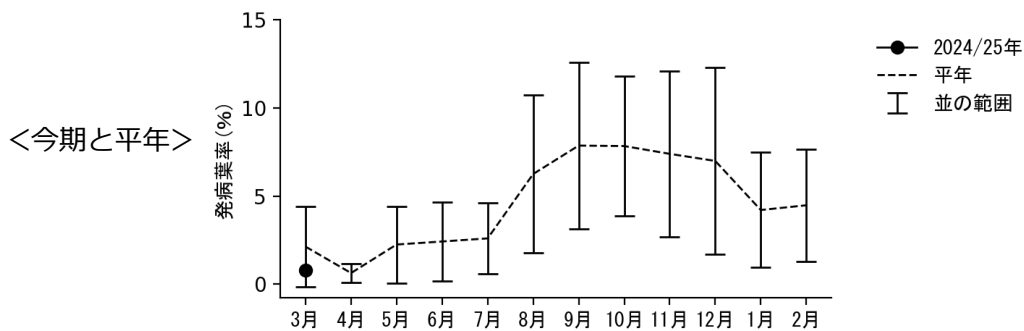


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	3 月の発生量 (平年比)	並	
予 報	3 月からの増減傾向	↘	
	4 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	



調査結果

発病葉率の推移



- ・ 葉の発病度0.2 (平年0.3)
- ・ 発生ほ場率40.0% (平年 : 56.5%)

防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。

被害葉→



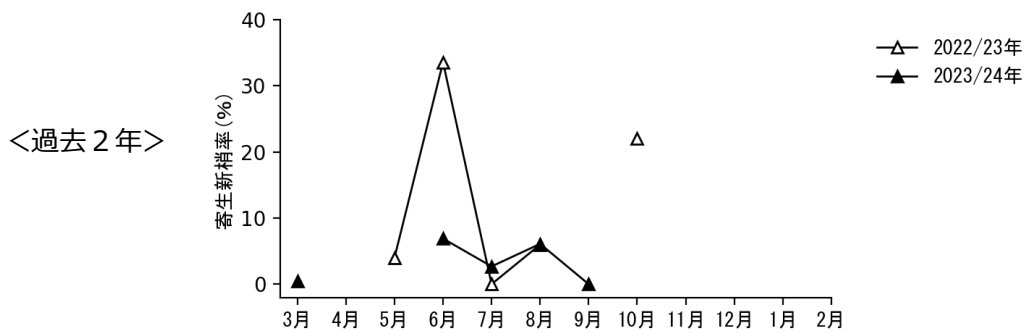
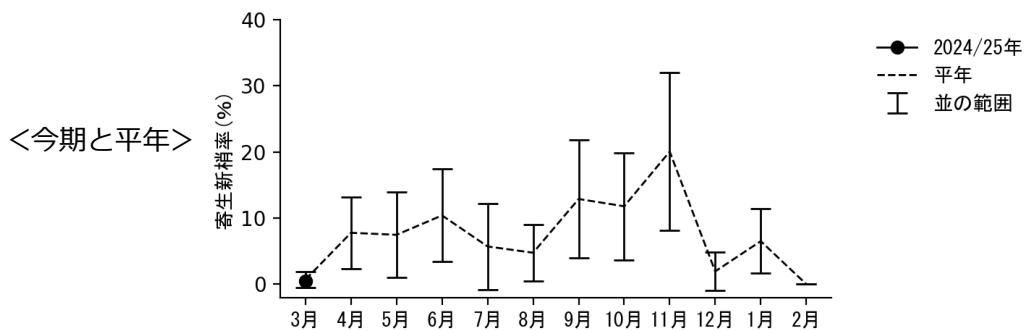
作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	② アブラムシ類		
調査結果	3 月の発生量（平年比）	並	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	



ユキヤナギアブラムシ

調査結果

寄生新梢率の推移




- ・発生種：ユキヤナギアブラムシ
- ・発生ほ場率20.0%（平年：15.4%）

防除のポイント

- ・新梢や新葉に寄生する。アリを探することで、アブラムシの発見が容易になる。
- ・テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。

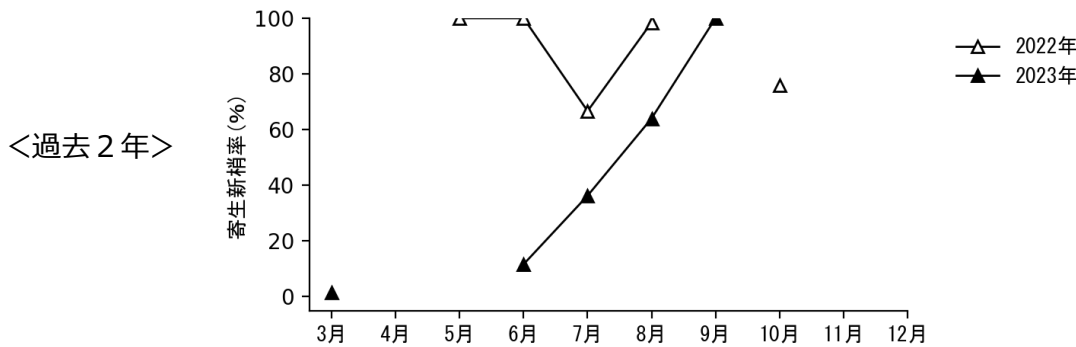
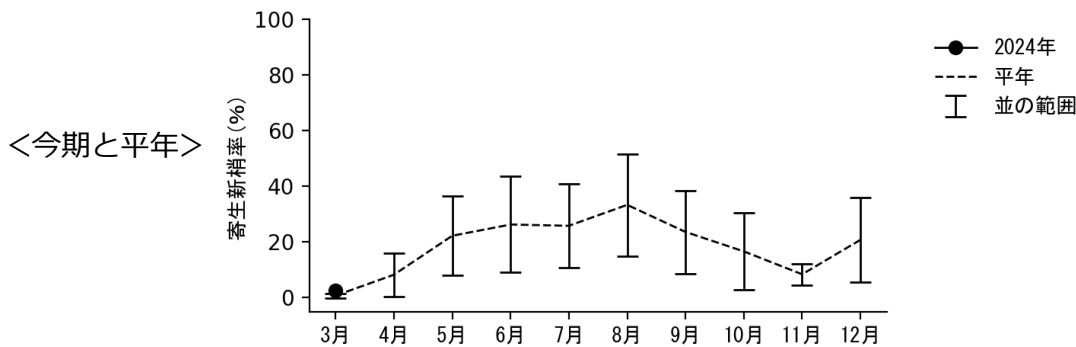


アブラムシに随伴するアシジロヒラフシアリ

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ミカンハモグリガ		
調査結果	3 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

寄生新梢率の推移



・発生ほ場率20.0%（平年：20.7%）

防除のポイント

- ・食害痕にかいよう病が感染して伝染源になるので、被害葉の除去に努める。
- ・被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

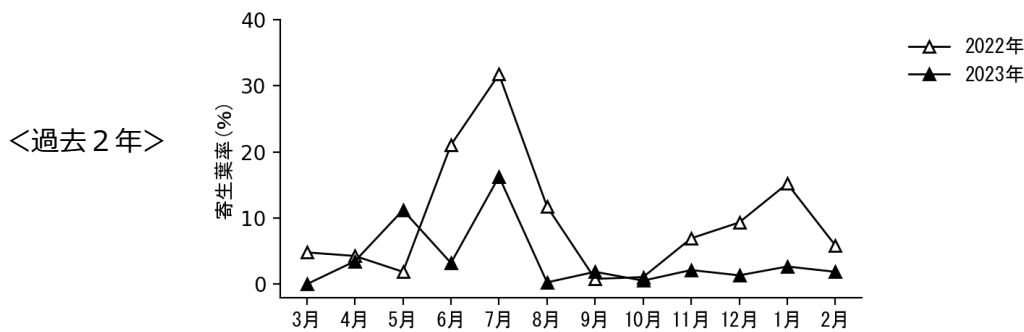
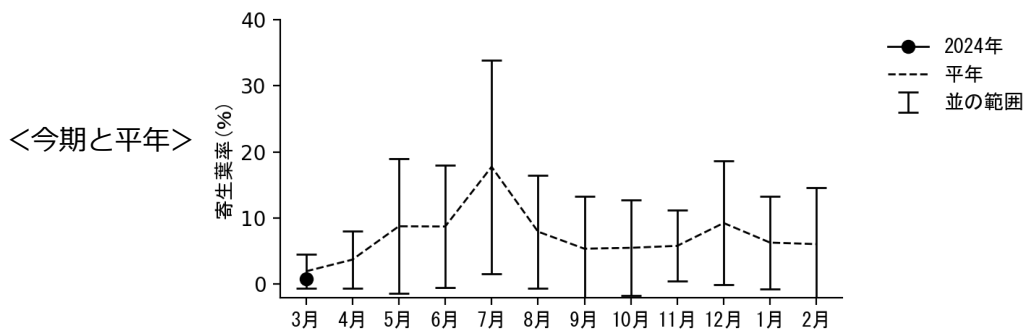
作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ハダニ類		
調査結果	3 月の発生量（平年比）	並	
予報	3 月からの増減傾向	↗	
	4 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	



ミカンハダニ

調査結果

寄生葉率の推移



- ・発生種：ミカンハダニ
- ・発生ほ場率20.0%（平年：26.1%）

防除のポイント

- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状